

社会貢献活動

理念

三菱電機グループは、社会の要請と信頼に応える良き企業市民として、
持てる資源を有効に活用し、従業員とともに、豊かな社会づくりに貢献する。

三菱電機グループが目指す「3つの共生」

共生社会を実現するために、一人ひとりを起点とする「人」のレベル、地域コミュニティの集合体である「社会」のレベル、そしてそれらすべての基盤である「地球」のレベルでの活動を推進しています。

従業員と会社が一体となって「3つの共生」を推進、
共生社会の実現を目指す

Global Environment
地球環境

「地球環境」 との共生

自然を守り育てる活動を通じ、多様な生命を育み、様々な恵みを与えてくれる自然のありがたみを再認識し、環境に配慮した行動を促す活動を推進

里山保全プロジェクト

みつびしでんき野外教室

Social
社会

「地域社会」 との共生

福祉や教育などの生活インフラの分野において、NPOなど各種団体と連携し、持続可能で活力ある、障がい者を含めあらゆる人が自分らしく生きられる地域社会の実現に主眼を置いた活動を推進

三菱電機
SOCIO-ROOTS基金

みつびしでんき科学教室

People
人

「あらゆる人」 との共生

大人から子どもまで、障がいの有無等にかかわらず、あらゆる人がお互いを尊重し認め合い、心身ともに健康で高め合う機会や環境整備を推進

パラスポーツ支援

スポーツ振興

文化芸術振興

推進体制

サステナビリティへの取組みの一つとして、社会貢献活動の理念にもとづき、三菱電機グループの各社・各拠点で地域のニーズに基づいた活動を積極的に展開しています。事業から独立した組織として、日本国内にはマッチングギフト制度の三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金が、米国とタイには財団があります。

2023年度の主な活動

- 三菱電機SOCIO-ROOTS基金による社会福祉施設や被災地の子どもたち支援のための寄付
- 里山保全プロジェクト・みつびしでんき野外教室、みつびしでんき科学教室
- 文化芸術・スポーツ関連団体への寄付を通じた次世代人材育成の支援
- パラスポーツへの支援を通じた共生社会実現の取組み
- 米国三菱電機財団による若年障がい者の就労支援
- タイ国三菱電機財団による次世代への教育支援や環境保護活動への取組み
- トルコ・能登半島被災地支援

2023年度活動実績

社会貢献活動支出額（三菱電機及び国内外主要関係会社）

約 **22.6** 億円

* 支出額には自社が企画する社会貢献活動の運営・製品寄贈等の費用を含みます。

地球環境との共生

従業員が地域と進める自然共生活動

三菱電機グループでは、共生社会の実現に向けて、従業員が主体となった二つの環境保全活動を事業所単位で実施しています。

- 「里山保全プロジェクト」(2007年開始)

事業所周辺の森林・海・河川・畑など、身近な自然の回復を図っています。

- 「みつびしでんき野外教室」(2006年開始)

一般社団法人日本野外生活推進協会による指導のもと、地域の皆様とともに自然を体験する機会を提供し、エコロジー(生きもの同士のかわり)への気づきを促しています。

各種行事への参加時や、日常的に自然と親しむためのツールとしてスマートフォン用いきものコレクションアプリ「Biome」(提供株式会社バイオーム)を活用しています。自治体、公益財団法人日本環境協会(子どもエコクラブ)などの環境活動団体、地域の有識者、幼稚園・保育園とも連携して、自然と共生し、地域の方々とのコミュニケーションを深めながら進めています。

[活動の詳細](#)

2023年度活動実績



東京湾アマモ場再生活動

地域社会との共生

三菱電機 SOCIO-ROOTS 基金

1992年に開始した「三菱電機 SOCIO-ROOTS 基金」は、従業員からの寄付に対して会社が同額を上乗せ(マッチング)し、社会福祉施設や団体に拠出するマッチングギフト制度です。善意の寄付を倍にするこの取組みには毎年多くの従業員が参加しており、2024年3月時点で累計約2,400件、金額にして約15億4千万円を寄付しています。

本基金は全国の事業所に支部を置き、従業員の善意を各地域の社会福祉施設などへお届けしています。設立当初から、各都道府県の共同募金会には寄付先の紹介をはじめ、地域ニーズ把握などの面でご協力いただいております。

[活動の詳細](#)

2023年度活動実績



各事業所における募金活動

各事業所では従業員が気軽に寄付できるように、チャリティーバザーやチャリティーオークション、自動販売機を活用した募金活動など、それぞれの事業所に応じた活動を行っています。また、2021年度からはオンラインで募金できるシステムを導入・運用しています。



各事業所における募金活動

想いを直接届ける支援 ～従業員の善意を笑顔で伝える～

障がい者支援施設をはじめ、乳児院や母子生活支援施設、児童養護施設、特別養護老人ホームなどへ支援を行っています。寄付先への贈呈式を通じて、顔の見える支援を心がけています。



寄付先への贈呈式

自然災害による被災地への寄付 ～子どもたちの健やかな成長を応援～

東日本大震災をはじめとする自然災害により被災した子どもたちへの支援を継続して行っています。2011年から2024年3月末まで、合計2億850万円を寄付しています。



被災地の子どもたちへの支援

科学技術

みつびしでんき科学教室

2009年から「みつびしでんき科学教室」として、電気や熱、音、光、風、通信やプログラミングなどにかかわる基本原理を子どもたちに体感してもらう教室を開催しています。実験などを通して理科の楽しさを伝え、理科の楽しさを感じ、基本原理と製品とのかわりを知ることによって、製品が社会でどのように役立っているかを実感していただけます。

[活動の詳細](#)

2023年度活動実績



光について学ぶ(モニタの観察)

あらゆる人との共生

スポーツ振興

パラスポーツ支援

三菱電機では、障がいの有無にかかわらず、あらゆる人がお互いを尊重し認め合う「共生社会」の実現に向けた取組みを推進しています。

一例として、公益財団法人日本パラスポーツ協会(JPSA)及び一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟(JWBF)のオフィシャルパートナーとして、障がい者スポーツの普及・啓発に貢献しています。

ジュニア選手発掘支援事業への協賛

JWBFが主催するジュニア選手の発掘支援事業に2022年から協賛しています。

2023年度は北海道、茨城、東京、神奈川、静岡、大阪、広島、高知、熊本の9カ所、延べ140名が参加しました。



北海道開催

天皇杯第49回日本車いすバスケットボール選手権大会特別協賛

6,000人以上の観客のもと繰り広げられた本大会に特別協賛し、来場者向けデジタルフォトスポット、選手への応援メッセージを届けるブースの設置など来場者が楽しめる企画を実施しました。

[活動の詳細](#)



天皇杯 第49回日本車いすバスケットボール選手権大会 副賞の授与

スポーツチームによる活動

バスケットボール

「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」と「三菱電機コアラーズ」は、各地で開催される小・中学生を対象としたバスケットボール教室に、コーチや選手を定期的に派遣して、バスケットボール普及のために積極的な活動を行っています。

[活動の詳細](#)



バスケットボールを楽しみながら防災行動を学ぶ「DEFENSE ACTION」を実施

テニス

三菱電機テニス日本リーグチーム「ファルコンズ」に所属するプロ選手や従業員選手が、全国でテニスクリニックを実施しています。また、車いすテニスやブラインドテニスを通じて健常者と障がい者が交流し、互いの理解を深めることの大切さを学んだり、被災地では現地の方々と一緒にテニスを通して楽しい時間を過ごすことで、心の復興にも取り組んでいます。

[活動の詳細](#)



東北応援クリニック

バドミントン

S/JリーグIIで活躍する三菱電機バドミントンチーム「ダイヤモンドウィングス」は、バドミントンの普及と地域貢献を目的に、主にチームの拠点がある兵庫県内で活動を行っています。講習会や、高校生等の練習参加受け入れによる選手強化に協力し、バドミントンのおもしろさを伝えています。

[活動の詳細](#)



バドミントนครリニック

文化芸術振興

絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち

三菱電機ビルソリューションズ株式会社は、手の自由を失った世界各国の画家が、口や足に絵筆をとり丹精を込めて描いた絵画を展示する「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」を、全国各地で開催しています。



絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち

視覚障害のある世界的バイオリニスト 川島成道氏を支援

川島成道氏は桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学し、スペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与されました。三菱電機は英国における活動から支援を継続しています。その他、オーケストラやオペラハウスを支援することで、次世代の芸術家の育成を支援しています。



バイオリニスト・川島成道氏

海外での活動

米国三菱電機財団

1991年に設立した米国三菱電機財団(Mitsubishi Electric America Foundation -MEAF)は、誰もが自由に、いきいきと過ごせる社会の実現を目指して活動しています。MEAFは、障がい者の失業率が高いこと、社会が有能な人財を必要としていることを考慮し、障がいがある若者が活躍できる社会を推進する全米規模のプロジェクトに、これまでに1,790万ドルを助成しています。

また、米国三菱電機グループの各拠点において、従業員からの寄付にマッチングを行うことで、それぞれの地域社会のために960万ドルを寄付しています。MEAFの助成額は累計で2,750万ドルに上ります。



Teaching the Autism Community Trades (TACT)による職業訓練

近年の活動例

MEAFでは、需要のある分野に、有能な人財を送り出す団体を支援しています。また、障がいのある少女たちを、障がいのある専門家のメンターとマッチングし、成人期の雇用につながる支援を行っています。2011年以来、62,000人以上の障がいのある若者の就業を支援しました。



Disability EmpowHer Network

Topics

筋ジストロフィー患者家族を支援するチャリティーを開催

米国三菱電機グループ従業員は、地域社会のニーズに応えるため、年間12,000時間以上のボランティア活動や寄付を行っています。2023年にオハイオ州メイソンで開催されたMEAFのVolunteer Leadership Workshopには、全米から従業員が集まり、Parent Project Muscular Dystrophy(筋ジストロフィー患者家族団体)を支援するチャリティー・ランを行いました。



チャリティー・ランの開催

[MEAFの取り組み](#)

タイ国三菱電機財団

1991年に設立したタイ国三菱電機財団(Mitsubishi Electric Thai Foundation -METF)は、30年以上、大学生への奨学金支援や、教育機関の自立的な経営支援を通じて、タイの教育分野における発展に貢献してきました。2014年からは、タイ官民、タイの三菱電機グループ各社と連携、協力しながら、環境保護活動への取組みを開始しており、関係会社合同での環境保全にかかわるボランティア活動にも注力しています。また、タイの三菱電機グループにおけるサステナビリティ活動の連携を強化する目的で、「Thai Philanthropic Committee」を設立し、直近では、新型コロナウイルス感染症や干ばつへの対策等、タイの状況に沿った支援を行っています。



カセサート大学でのセレモニー

近年の活動例

- 次世代への教育支援
 - － 工学系大学への奨学金支援
 - － 小学生を対象とした科学教室の実施
 - － 児童保育施設の建設支援等
- 環境保全活動
 - － 干ばつや洪水を防ぐ取組みへの支援
 - － タイ国内の三菱電機グループ合同の植林活動等



植林活動の様子

干ばつ被害や洪水被害に苦しむ村のために、「ため池」を建設する活動が認められ、2024年1月に、Sirindhorn王女殿下より褒賞を賜りました。

また、財団が2018年から実施している「気候変動対策のためのコミュニティフォレストパートナーシップ」に対し、2023年5月にタイ王国天然資源環境省より、表彰を受けました。

[METFの取組み](#)



褒章授賞式

三菱電機グループによる海外での活動事例

[社会貢献活動マップ](#)